

第 32 回(令和 3 年度)実技試験「読取り通訳」問題 要旨

【第 1 問】

場面：大学の学生支援室の講演会

講師：聴覚障害のある卒業生

テーマ：パソコンノートテイクの経験

パソコンノートテイクは、以前は教室内に Wi-Fi がなかったため、パソコン同士を LAN ケーブルで接続せねばならず、決まった席に座らなくてはなりませんでした。無線 LAN が入り、私は友人の隣で授業を受けられるようになりました。ノートテイクをしてくれる学生が見つからない時は、外部に依頼します。その場合は、私のスマートフォンを通して先生の声を入力者に送り、その入力者が打った文字を私のスマートフォンで表示させます。電波の入りが悪い教室の時は、先生にお願いして、教室を変更してもらったという思い出もあります。

【第 2 問】

場面：ハローワークでの個別相談

事務の仕事をしています。普段きちんと仕事をこなしているつもりです。ですが、まわりの同僚はもっと勉強が必要とか言われていたり、残業をしたりしているのに、私だけその中に入れません。私もみんなと同じように仕事がしたいのに、これではろう者はいないということだろうかと思ってしまう。年に二度ある会社の面談で、手話通訳者を同席させてほしいと言ったのですが、筆談するから大丈夫と言われてしまったんです。筆談は確かにできますが、それだと自分の言いたいことを十分に伝えられません。転職した方がよいでしょうか。